

おはなし会

事業名	日時	参加人数
大人のおはなし会〔読書会〕 （吾亦紅）	9／4(火)	9人
乳幼児向けおはなし会 〔ブックスタート併用日〕 （図書館ボランティア協力）	9／6(木)	78人 対象児 26人
おはなし会〔幼児から低学年〕 （吾亦紅）	9／8(土)	26人
おはなし会〔幼児から低学年〕 （図書館ボランティア）	9／15(土)	21人
ブックスタートおはなし会 （図書館ボランティア協力）	9／15(土)	10人 対象児 6人
乳幼児向けおはなし会 （図書館ボランティア） 保健師育児相談	9／20(木)	30人(1人)
えいごのおはなし会 （レディバグ）	9／22(土)	52人

閲覧室内企画展示

テーマ	資料内容
でかけよう！しゅっぱつしよう！	秋の行楽シーズン、鉄道の日(10月14日)にちなみ、ピクニック、旅行、乗り物の本を絵本・幼年童話・児童文学から100冊選書
おじいちゃん おばあちゃんあのね・・・	敬老の日に合わせ、おじいちゃん、おばあちゃんをテーマにした児童書を80冊選書。「家族ってなんだろう」、「みんながそろろう日」、「アニーとあばあちゃん」など。
いわさき ちひろ特集 誕生100年 平和と幸せを願う子どもの絵	誕生100年を迎える絵本作家、また画家でもある「いわさきちひろ」の著作の絵本や関連本など、子どもから大人まで幅広い層を対象に60冊を選書。
忘災の防災なのだ	防災をテーマにした児童書・一般書を合わせ40冊選書。「みんなの防災事典」、「防災・減災につなげるハザードマップの活かし方」など。「長久手市防災マップ」も配布。
夏休み 歴史への招待	児童向けの歴史本の中から、長久手に関わりの近いものを18冊選書。

その他

事業名	日時	人数
愛知淑徳大学生図書館実習 （司書課程）	9／5(水)～11(火)	2人
北小学校2年生生活科 「まちたんけん 大はっけん」	9／28(金)	157人

10月の予定

おはなし会

事業名	日時
大人のおはなし会〔読書会〕 (吾亦紅)	10／2(火)
乳幼児向けおはなし会 〔ブックスタート併用日〕 (図書館ボランティア協力)	10／4(木)
おはなし会〔幼児から低学年〕 (吾亦紅)	10／13(土)
乳幼児向けおはなし会 (図書館ボランティア) 保健師育児相談	10／18(木)
おはなし会〔幼児から低学年〕 (図書館ボランティア)	10／20(土)
ブックスタートおはなし会 (図書館ボランティア協力)	10／20(土)
えいごのおはなし会 (レディバグ)	10／27(土)

閲覧室内 企画展示（9月から展示する新規分）

テーマ	内 容
みんなのアイドル 恐竜さん	恐竜をテーマにした一般書を40冊選書。「楽しい日本の恐竜案内」、「はじめての恐竜刺しゅう」、「大人の恐竜図鑑」など。
長寿課とのコラボレーション(長寿課 認知症施策推進総合戦略) 「認知症」	福祉の家で中央図書館の本も交えた「オレンジ棚」(認知症の本の展示)が開始された。中央図書館でも内容・冊数を拡大し、認知症の病気、予防、体験談など、対象も大人から子どもまでに広げて50冊選書。
〔ミニ展示〕読書が大好きになる本そろえました。	読書が好きになるきっかけ作りの1つとして、「本」の成り立ち、読者の手に届くまでをわかりやすく解説した本を10冊選書。「本のことがわかる本」、「わくわく図書館」など。
たつせがある課とのコラボレーション: 男女共同参画図書コーナー 「ワーク・ライフ・バランスって何だろう？」	男女共同参画の視点で、子育て、家事、介護、地域活動、仕事などの本を30冊選書。

平成30年度 中央図書館事業 事業進捗状況管理表

	事業名	課題	目標	実施項目	進捗状況・結果	年間スケジュール												備 考
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	児童館図書室での貸出事業	・貸出状況が把握されていない。 ・司書による定期的なメンテナンスが必要	・貸出状況調査の実施 ・長久手南児童館をモデル館とし、年間貸出数400冊(平成29年度約360冊)	1.団体貸出本の入替え、対象年齢別に本を棚に配置。 2. 図書室の貸出冊数を記録。	児童館本と図書館本とに分けた月別の貸出冊数を翌月の10日までにもらうこととし、報告を受けた。	年間スケジュール 南児 選書協議 南児団体貸出入 下山・西館での団体貸出本の入替え、配架調整(含む協議) 集計と検証(毎月) 31冊 53冊 29冊 30冊 49冊 < 全数 南児童館との作業内容協議	第2次子ども読書活動推進計画 基本目標Ⅱ-2-(2)											
2	中高生向け特化棚づくり事業	中高生向けの棚の利用冊数が少ない	中高生向けの棚の貸出冊数 年間6,200冊	1.新着図書リストを2ヶ月ごとに作成、掲示。 2.図書館ホームページ内の該当ページを2ヶ月ごとに更新。 3.中学校図書館での情報掲示。 4. 市内の2高校の図書館便りを2ヶ月に1度掲示更新	中央図書館で新しく蔵書化した本のうち、中高生向けの図書をリスト化。 中高生向けの棚の貸出冊数 8/28現在2,834冊	年間スケジュール 中高生向き新着図書リストの作成、掲示 図書館ホームページ内の該当ページを更新 中学校図書館での情報掲示 高校の図書館便りを掲示	第2次子ども読書活動推進計画 基本目標Ⅱ-1-(2)											
3	不明化対策事業	不明本が発生している	年間の不明本冊数減らす。 (前年度209冊、目標150冊)	1.不明化傾向分析に基づく本の配置換え。 2.本にマーキング(館所蔵を表示)を継続。 3.職員の巡回による抑止力強化 4. 返却場所不明本用の小型書架の増設(3台) 5.防犯カメラ等の表示貼替え	不明化傾向分析に基づく本の配置換えを継続。 本にマーキング(館所蔵を表示)を継続。 シフト交代時に館内を巡回。 夏休み中はシルバーも巡回。	年間スケジュール 不明化傾向分析に基づく本の配置換え、本にマーキング(館所蔵を表示) 職員等による閲覧 返却場所不明本用の小型書架の購入手続き(3台) 防犯カメラ等の表示貼替え 黄ばみ等の点検、位置の変更など 集計と検証(毎月) 4冊 1冊 2冊 2冊 5冊												
4	延滞対策事業	延滞本が発生している	月次集計時点での延滞冊数を500冊以内とする。	1.15日以上延滞者に督促はがきを毎週郵送 2.長期延滞者宛のはがき色を変更 3.延滞者への注意喚起カラーカードを作成し、窓口で渡す	長期延滞者宛に黄色のはがきを使用開始。 延滞者への注意喚起カードの様式を定め、窓口カウンターにて使用中。	年間スケジュール 延滞者に督促(はがきを毎週郵送(通年)) 延滞者への注意喚起カードの作成 / 窓口での配布(通年) 集計と検証(毎月) 668冊 482冊 388冊 256冊 298冊												

平成30年度 中央図書館事業 事業進捗状況管理表

[illegible]